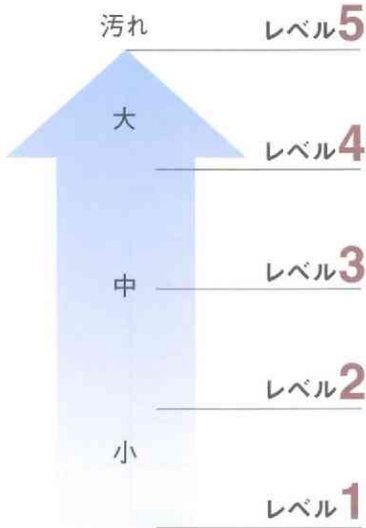


パッケージエアコン予防保全時期 熱交換器洗浄 のガイドライン

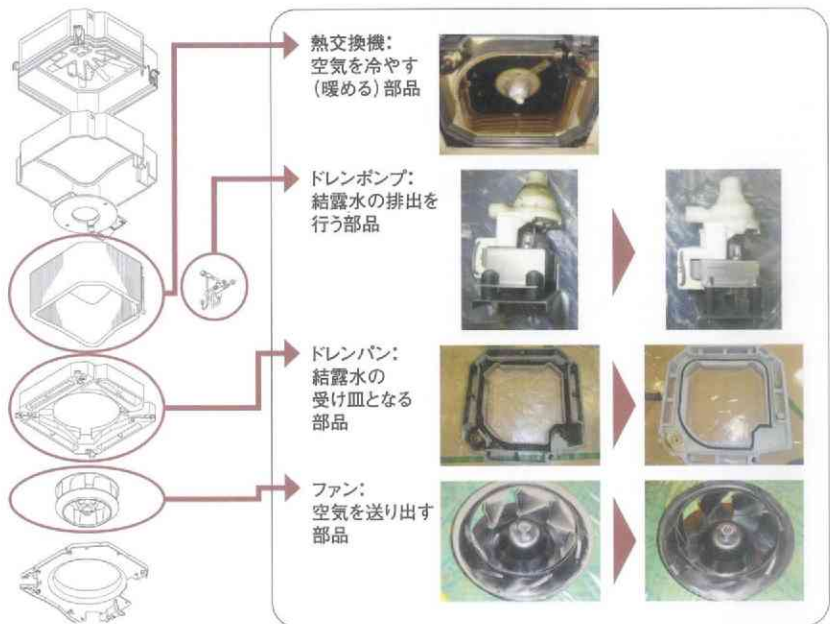
保全内容	業種	経過年数														
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
熱交換器洗浄	店舗			洗浄(1回目)			洗浄(2回目)			洗浄(3回目)			洗浄(4回目)			
	福祉・医療				洗浄(1回目)					洗浄(2回目)						
	事務所					洗浄(1回目)					洗浄(2回目)					
	工場			洗浄(1回目)			洗浄(2回目)			洗浄(3回目)			洗浄(4回目)			
	工場事務所棟					洗浄(1回目)					洗浄(2回目)					

注：洗浄時期(サイクル)は、環境、雰囲気、運転時間等で変わります。

汚れとレベルの相関



主な整備対象部品



レベル 1

状況

熱交換器表面にも汚れが無く安心して、ご使用頂けると判断いたします。

レベル 2

洗浄前



フィン拡大



洗浄中



洗浄後



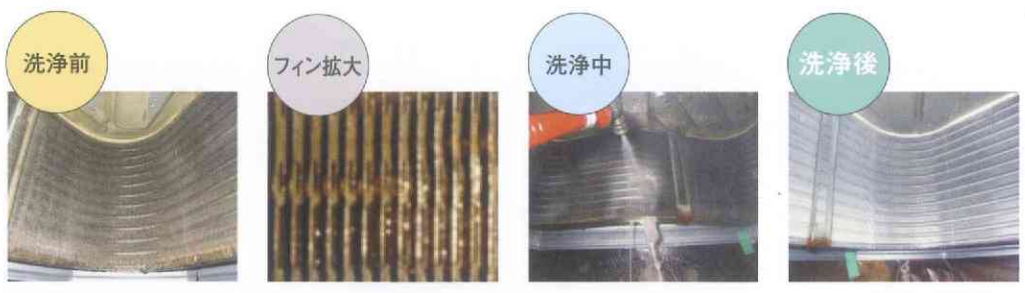
状況

ホコリ又は煙草のヤニが、風量に影響のない程度に付着した状態です。この時期からドレンパンは汚れが目立ちはじめ、スライムによるドレン水位系の不具合が懸念されます。

空調のシーズン前には、洗浄をご検討ください。

- ・空調性能を維持し、長く空調機をご利用いただくためには、この時期からの予防保全(洗浄)が必要です。
- ・汚れの初期状況から洗浄を行うと水飛びなどのトラブルを未然に防止できます。

レベル 3

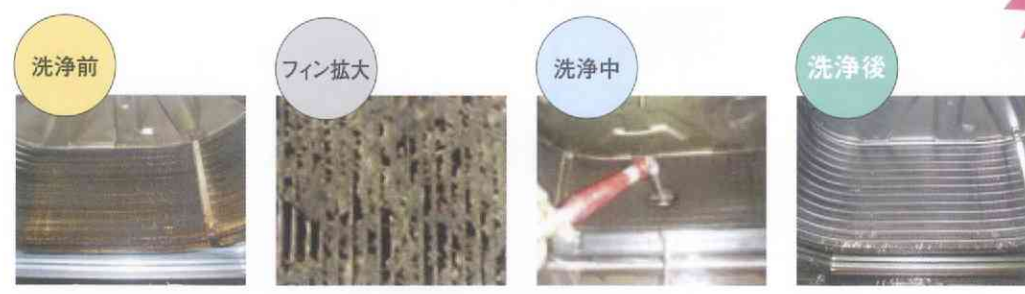


状況
ホコリ又は煙草のヤニが、風量に影響のない程度に付着した状態です。この時期からドレンパンは汚れが目立ちはじめ、スライムによるドレン水位系の不具合が懸念されます。

空調トラブルが発生し出す状態です。洗浄をご検討下さい。
 ・汚れが目立ち始めており、洗浄力の強い薬品を使用する必要があります。
 ・一般的な洗浄剤では熱交換フィンの保護皮膜(親水処理膜)を痛める恐れがあります。保護皮膜にやさしい「エコフィンKirei」(空気Kireiサービス専用洗浄剤)での洗浄をお勧めします。



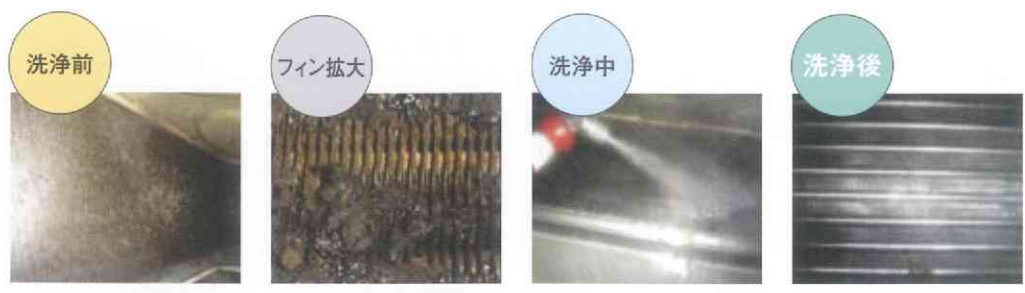
レベル 4



状況
ホコリ又は煙草のヤニが付着した状態です。(柔らかい付着物)この時期から、冷房時であれば水漏れ、吹き出し口からの水飛びが発生し始め、暖房時であれば室外機の異常停止が発生する可能性があります。

空調性能に影響を与える状態です。洗浄が必要です。
 ・熱交換フィンの洗浄に留まらず、機能部品の分解整備も必要な状況です。
 ・カビや菌の発生も考えられますので対策が必要となります。
 銀イオン系の抗菌剤がカビや菌の発生を抑制します。(空気Kireiサービス:効果約2年)

レベル 5



状況
熱交換器表面にホコリが付着し写真の様にフィンの隙間が全面的に詰る状態になっています。(硬い付着物)この状態になると、冷房時では水漏れ、暖房時であれば、室外機の異常停止が発生します。この状態で御使用されると風量の低下により空調不良が発生し、室外機に過度のストレスを与え故障の原因になります。

洗浄と機器の保全が必要です。
 ・洗浄と機能部品の保全(主要部品の交換・分解整備など)が必要な状況です。
 ・加えて、室外機の予防保全もご検討下さい。